

ことわざ・慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたいことわざと慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『後の祭り』

意味:遅れて役に立たないこと。

ひとこと:『後悔先に立たず』に似た意味。

使い方:デパートのバーゲンに行ったら、ほとんど商品が売り切れていて後の祭りだった。

『油を売る』

意味:むだ話をしたり、休んだりして仕事をなまけること。

ひとこと:江戸時代、油売りの商人がゆっくりと話しこんで商売をしたことからきた言葉。

使い方:お使いの帰りが遅かったら、どこで油を売っていたのとしかられた。

ことわざ

『言うは^{やす}易く行^{かた}うは難し』

意味:口で言うのは簡単だが、実際に行うのは難しいという意味。

ひとこと:「言うは行^{やす}うより易し」とも言う。

使い方:毎日日記をつけるのは「言うは易く行^{かた}うのは難し」だ。

『石の上にも三年』

意味:何をするにもがまんやしんぼうが大切だと言う意味。

ひとこと:冷たい石の上でも3年座り続けていれば、石も^{あたた}温まるという意味からきた言葉。

使い方:何事も「石の上にも三年」だから簡単にあきらめずに続けてみるべきだ。